

# Web-tap / Web-tap

## 取扱説明書



富士通コワーコ株式会社

## 目次

はじめに：安全上のご注意	1
1. 正しくお使いいただくための注意事項	7
2. 概要	8
3. 外形寸法および各部の名称	9
4. 据え付けおよび配線	11
5. 運転操作	12
6. 保守・点検	15
7. 特殊機能	16
8. 標準仕様	17
9. オプション品	17

富士通コワーコ(株)支店・営業部一覧

## はじめに

このたびは、Web-tapをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
本書には、お客様とサービス技術員の安全を守るためのご注意を記載しています。また、  
装置を末長くご愛用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。  
お読みになった後は、いつでもご覧になれる場所に保管してください。

## 安全上のご注意

据え付け、運転、保守・点検の前に必ずこの取扱説明書とその他の付属書類をすべて熟読し、機器の取り扱い、安全の情報、そして注意事項について確認してからご使用ください。

この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。



：取り扱いを誤った場合に、危険な状況がおこりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。



：取り扱いを誤った場合に、危険な状況がおこりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、 注意 に記載された事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。禁止、強制の絵表示の説明を次に示します。



：禁止（してはいけないこと）を示します。



：接地（必ずしなければならないこと）を示します。  
接地は必ず行ってください。



### 3. 使用上の注意事項

 <b>危険</b>	参照 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>• ユニットが故障し、異臭、異音が発生したときは、すぐに電源ケーブルを抜いてください。火災の原因になることがあります。</li> <li>• ユニットのカバーは開けないでください。感電のおそれがあります。</li> </ul>	7

 <b>注意</b>	参照 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本ユニットを起動する前に接続装置側の安全を確認し、取扱説明書に従って運転操作を行ってください。不用意な給電は、感電、事故のおそれがあります。</li> </ul>	7

 <b>禁止</b>	参照 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 次のような用途には絶対に使用しないでください。             <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 人命に直接かわる医療機器などへの使用。</li> <li>b. 人身の損傷に至る可能性のある電車、エレベータなどの制御機器への使用。</li> <li>c. 社会的、公共的に重要なコンピュータシステムなどへの使用。</li> <li>d. これらに準ずる装置。</li> </ul>             上記設備への使用に該当する場合は、事前にメーカーにご相談ください。人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置などについては、システムの多重化、非常用発電設備の設置など、運用、維持、管理について特別な配慮が必要となります。           </li> <li>• ユニットの周辺での火気の使用はしないでください。爆発、破損により、けが、火災のおそれがあります。</li> <li>• ユニットの上部に花瓶など水の入った容器を置かないでください。花瓶などが転倒した場合、こぼれた水での感電、装置内部からの火災の原因になることがあります。</li> <li>• ユニットの上部に腰掛けたり、乗ったり、踏み台にしたりしないでください。</li> </ul>	-

4. 保守・点検上の注意事項

 <b>注 意</b>	参照 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 専門業者以外は、内部の点検、修理をしないでください。感電、けが、やけど、発煙、発火などのおそれがあります。</li> <li>• ユニットの修理または故障部品の交換は、お買い上げ販売店、サービス会社へ依頼してください。カバーを開けると感電、やけどのおそれがあります。</li> <li>• ユニットの出力コンセント部に金属棒や指などを差し込まないでください。感電のおそれがあります。</li> </ul>	-

5. 移動、輸送時の注意事項

 <b>注 意</b>	参照 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 移動、輸送時に落下させないでください。けがのおそれがあります。</li> </ul>	-

6. 廃棄時の注意事項

 <b>注 意</b>	参照 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本ユニットを廃棄する時は産業廃棄物処理業者に委託して下さい。</li> </ul>	-

7. その他の注意事項

 <b>注 意</b>	参照 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本ユニットは日本国内仕様品です。国外での使用については別途お問い合わせください。日本国内仕様品を国外で使用すると、電圧、使用環境が異なり発煙、発火の原因になることがあります。</li> </ul>	巻末

## 保証について

本ユニットは下記に記載の保証規定により「購入後1年間は無償修理」とし、1年間経過したものは有償とさせていただきます。

## 無償保証規定について

1. 保証期間中に取扱説明書に従った正常な使用状態で本装置が故障した場合には無償修理させていただきます。
2. 故障の際はお買い上げの販売店または当社支店・営業部（巻末）へご連絡ください。
3. 保証期間中でも、次のような場合には有料修理となります。
  - （1）ご使用の誤り、または不当な修理や改造、誤接続による故障および損傷。
  - （2）火災・地震・風水害・落雷およびその他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧や指定外の電源使用などによる故障および損傷。
  - （3）お買い上げ後の輸送や移動および落下など、不適當なお取り扱いにより生じた故障および損傷。

使用前の確認について

包装を開きましたら、包装内容をご確認ください。なお、万が一異常がありましたら、販売店または当社営業所までご連絡ください。

[ 包装内容 ]

( 1 ) ユニット本体                      Web-tap    または Web-tap                      1 台

( 2 ) 添付品

Web-tap

添付品	数量	備 考
取扱説明書	1	
3.5 インチフロッピーディスク ( ユーザガイド )	1	このユーザガイドは、Acrobat Reader 4.0 を使用して読み込むことができます。 Acrobat Reader は、Adobe 社 ( <a href="http://www.adobe.co.jp">http://www.adobe.co.jp</a> ) から入手できます。
19 インチラックマウント金具 ( 右・左 )	各 1	
取付ねじ ( M3 タッピングねじ )	4	
シリアルインタフェースケーブル ( 9 ピン用 )	1	0515303
保証書	1	

Web-tap

添付品	数量	備 考
取扱説明書	1	
3.5 インチフロッピーディスク ( ユーザガイド )	1	このユーザガイドは、Acrobat Reader 4.0 を使用して読み込むことができます。 Acrobat Reader は、Adobe 社 ( <a href="http://www.adobe.co.jp">http://www.adobe.co.jp</a> ) から入手できます。
19 インチラックマウント金具 ( 右・左 )	各 1	
取付ねじ ( M3 タッピングねじ )	4	
シリアルインタフェースケーブル ( 9 ピン用 )	1	0515303
保証書	1	

## 1 正しくお使いいただくための注意事項

### 1.1 入力電源についての注意

- (1) 交流入力電源は装置定格(100V ± 15%以内、50 または 60Hz)に合わせて使用してください。
- (2) 入力電源容量は 15A 以上としてください。

### 1.2 設置時の注意

入力側には、15A 以上の容量のブレーカを設置してください。また、漏電ブレーカを設置する場合は、感動電流にご注意ください。本ユニットの漏れ電流は、約 1mA です。

### 1.3 取り扱い上の注意

- (1) 出力回路の短絡、または短絡電流の流れる接続装置（出力コンセントに接続する機器）の接続は絶対にしないでください。保護機能動作などにより、出力が供給できなくなります。
- (2) 入力電源について  
本ユニットには、電力保護機能がありません。したがって、停電時はもとより瞬時電圧低下などにより、本ユニットの出力リレーがオフすることがあります。電力保護が必要な場合は、無停電電源装置をご使用ください。
- (3) 接続禁止装置について  
レーザプリンタ、普通紙ファックス、コピー機、OHP などの装置はヒータ加熱のため大きな電流が流れて過電流になり、本ユニットを破壊するおそれがあります。
- (4) 絶縁試験について  
屋内配線の絶縁試験を行う場合は、本ユニットを停止して入出力配線を外してから行ってください。配線したまま試験を行うと、内蔵の避雷器など電子部品を破損する恐れがあります。

### 1.4 故障時の対応について

下記のような異常が生じた場合は、販売店または当社営業所まで連絡してください。

STATUS の LED が緑色で点灯しない場合

STATUS の LED が赤色で点灯または点滅している場合

OUTPUT MONITOR の LED 表示が実際の状態と異なる場合

その他、異常と判断されることが起きた場合

## 2 概要

本ユニットは、出力コンセントにコンピュータやハブ、ルータのようなネットワーク機器を接続して、遠隔端末からの制御やスケジュール運転により、電力消費の削減や自動化運転などを行うものです。本ユニットには、Web-tap と Web-tap があり、それぞれの用途に応じて使い分けできます。

Web-tap の使用例を図 1 に、Web-tap の使用例を図 2 に示します。

Web-tap は、4 つの出力コンセントとこれに対応した 4 つのシリアルポートを持ち、個別にオン/オフ/リセットの制御ができます。制御は、遠隔端末上の Web ブラウザから行えます。また、電源を切る際にシャットダウン制御が必要なコンピュータを接続することができます。接続装置の最大使用電力は、1500W です。

Web-tap は、ハブやルータのようにコンピュータより消費電力が小さく、かつ、シャットダウン制御の必要がないものを接続するため、出力コンセント数が 8 個でシリアルポートはありません。出力コンセントは、Web-tap と同様に個別にオン/オフ/リセットの制御を遠隔端末上の Web ブラウザから行えます。

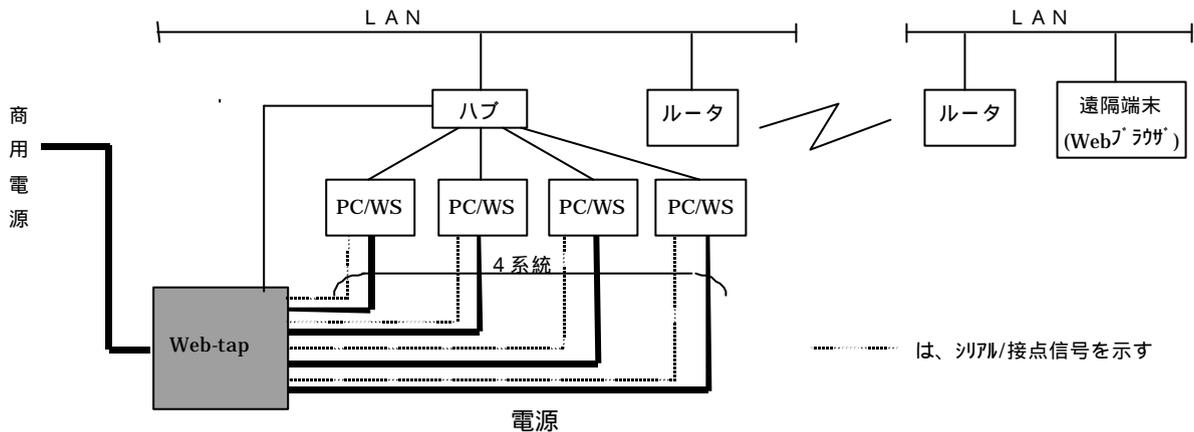


図 1 Web-tap の使用例

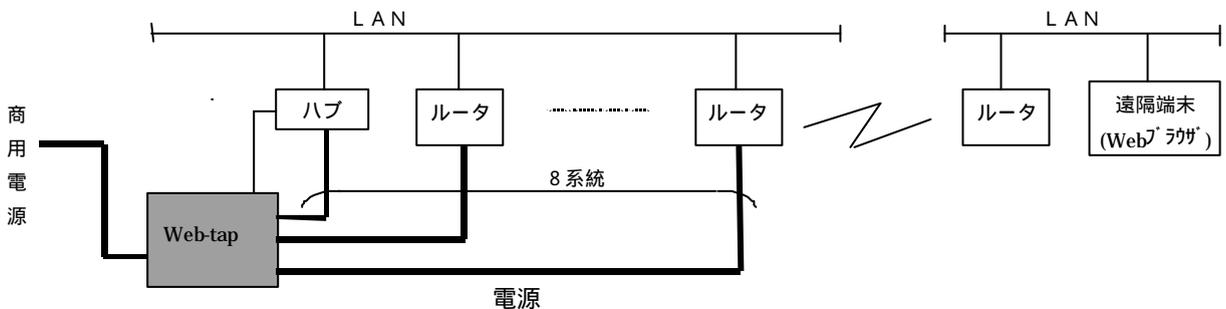


図 2 Web-tap の使用例

### 3 外形寸法および各部の名称

#### 3.1 Web-tap

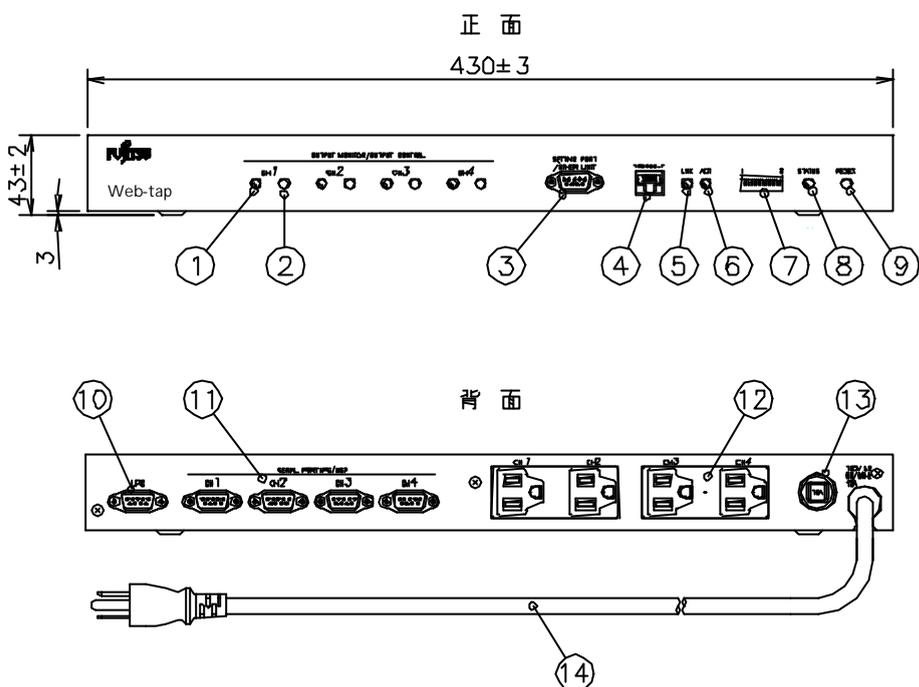


図3 Web-tap 概観図

番号	名称	本体の表示	機能	参照ページ
	出力表示用LED	OUTPUT MONITOR CH1 ~ CH4	出力状態の表示 出力制御受付時点滅	
	出力制御用スイッチ	OUTPUT CONTROL CH1 ~ CH4	出力の制御	
	設定用コネクタ	SETTING PORT /OTHER UNIT	設定および他ユニットとの接続用	
	LAN I/F用コネクタ	10Base-T	ネットワークケーブル接続用	
	接続状態表示用LED	LNK	ネットワーク接続状態の表示	
	データ送信表示用LED	ACT	データ送信時点灯	
	ディスプレイスイッチ	1 8	設定用	
	運転状態表示用LED	STATUS	CPU正常時 緑点灯 CPU故障時 赤点灯	
	リセットスイッチ	RESET	CPUリセット	
	UPS接続用コネクタ	UPS	UPSの転送信号接続用	
	外部接続用コネクタ	SERIAL PORT(PC/WS)	PC/WS接続用	
	出力コンセント	CH1 ~ CH4	2P接地型コンセント 4極	
	配線用遮断器	-	過電流保護	
	入力プラグ	100V AC 50/60Hz	2P接地型プラグ (平行)	

### 3.2 Web-tap

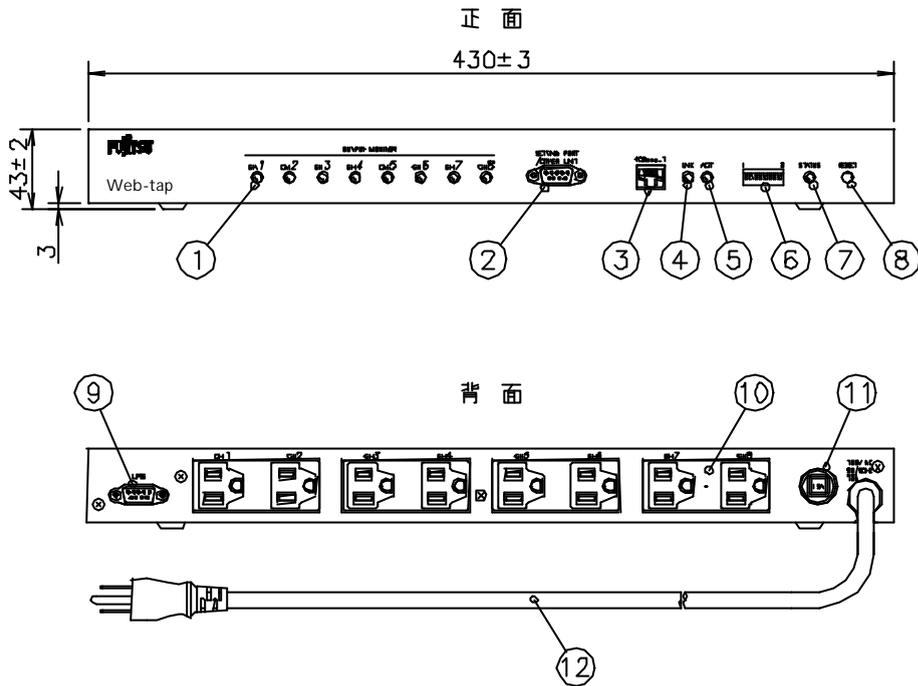


図4 Web-tap 概観図

番号	名称	本体の表示	機能	参照ページ
	出力表示用LED	OUTPUT MONITOR CH1 ~ CH8	出力状態の表示	
	設定用コネクタ	SETTING PORT /OTHER UNIT	設定および他ユニットとの接続用	
	LAN I/F用コネクタ	10Base-T	ネットワークケーブル接続用	
	接続状態表示用LED	LNK	ネットワーク接続状態の表示	
	データ送信表示用LED	ACT	データ送信時点灯	
	ティップスイッチ	1 8	設定用	
	運転状態表示用LED	STATUS	CPU 正常時 緑点灯 CPU 故障時 赤点灯	
	リセットスイッチ	RESET	CPUリセット	
	UPS 接続用コネクタ	UPS	UPS の転送信号接続用	
	出力コンセント	CH1 ~ CH8	2P 接地型コンセント 8 極	
	配線用遮断器	-	過電流保護	
	入力プラグ	100V AC 50/60Hz	2P 接地型プラグ (平行)	

## 4 据え付けおよび配線

### 4.1 据え付け

据え付け方法は、デスクのような平面に設置する方法と、19インチラックに設置する方法があります。デスクのような平面に設置する場合は、固定ができませんので、落下のおそれのない場所においてください。19インチラックに設置する場合は、付属の金具を本体に取り付けた後、ラックに固定します。下図を参照してください。

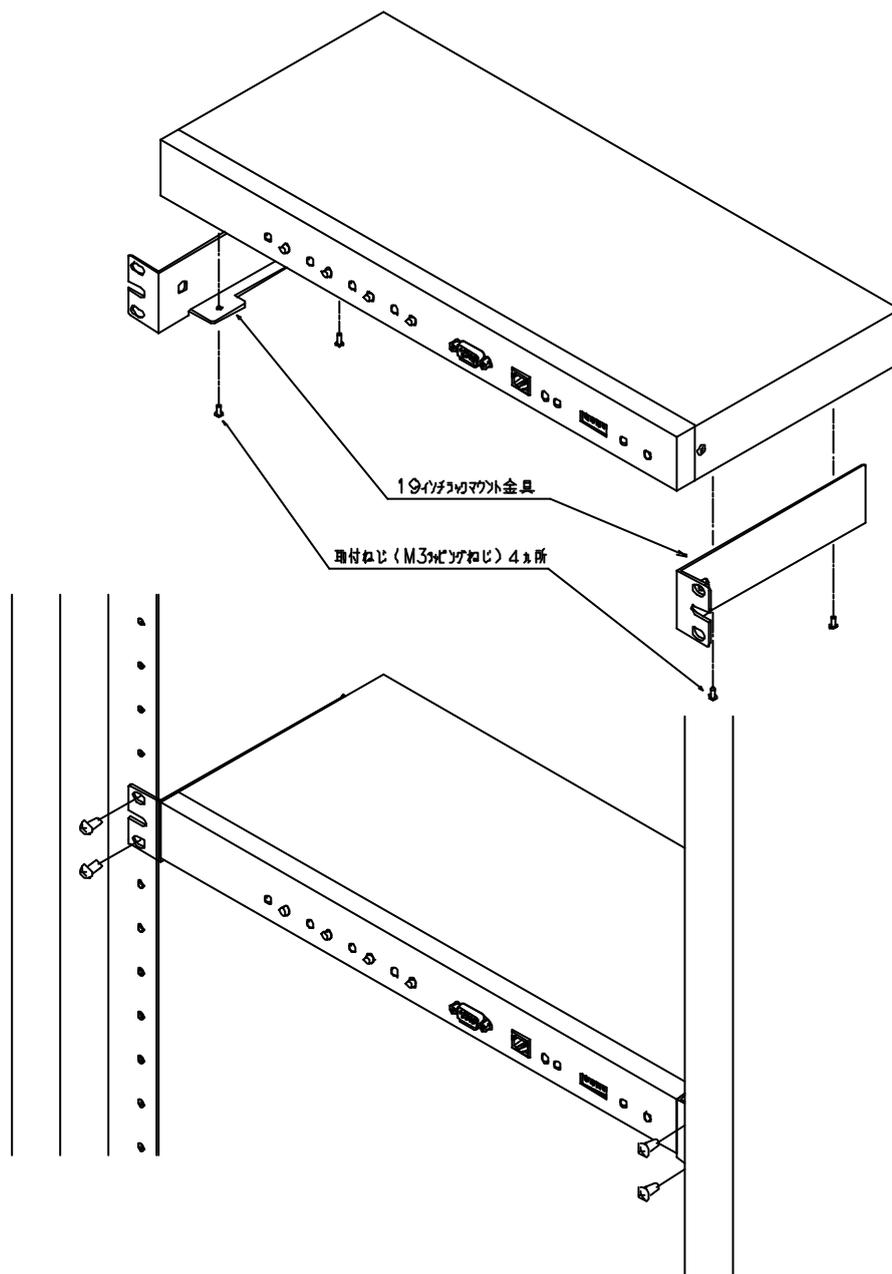


図5 ユニット取付け図

## 4.2 配 線

- (1) 入力プラグを無停電電源装置（以下、UPS という）の出力コンセント、または、商用電源コンセントへ接続してください。なお、本ユニットは電源を入/切するスイッチがないため、入力プラグを差し込むと運転を開始しますので注意して下さい。
- (2) 入力プラグは 2 極接地型です。商用電源コンセントが 2 極コンセント（接地極のない）の場合には下記の接地アダプタにより設置を行ってください。  
...WH2432P（松下電工）、ME2920（明工社）など...
- (3) ユニット正面の「10Base-T」のコネクタに、ネットワークインタフェースケーブルを、また、ユニット正面の D-Sub 9 ピンコネクタに添付のシリアルインタフェースケーブルを接続してください。

## 5 運転操作

### 5.1 運転前の準備

運転前に次の確認をしてください。

入力プラグを挿入する前に、電源が本ユニットの仕様にあっているか確認して下さい。

ユニットの外観に損傷や変形がないことを確認して下さい。

正面のディップスイッチが、すべて「OFF」になっていることを確認して下さい。

### 5.2 運転操作

#### (1) 運 転

(A) 入力プラグを電源に差し込みます。

(B) 約 10 秒間「STATUS」の LED が緑色で点滅し、その後連続点灯に変わります。

(C) (B)と同時に出力コンセントに電源が出力されます。これは、OUTPUT MONITOR 用の LED が緑色に点灯したことにより確認できます。

#### (2) アドレスの設定

本ユニットをネットワーク上で動作させるためには、IP アドレスを設定する必要があります。出荷時のデフォルトの IP アドレスは、「192.168.1.1」ですので、通常は設置する環境に対応した値に変更する必要があります。IP アドレスの変更は、ユニット正面の設定用コネクタのシリアルポート、または、LAN I/F 用コネクタの LAN ポートから行うことができます。シリアルポートを介して変更する場合は、ターミナルソフトウェアを、LAN を介して変更する場合は、Telnet または Web ブラウザを利用します。変更の手順は、以下のとおりですが、詳細については、「ユーザガイド」を参照してください。

(A) LAN を介して行う場合

本ユニット正面の LAN I/F コネクタにネットワークケーブルを接続します。  
ネットワークセグメントのクラス設定などの理由により、設定用 PC が本ユニットと直接通信できない場合は、設定用 PC のコマンドプロンプトウィンドウから以下のコマンドを実行してください。

```
route add 192.168.1.1 MASK 255.255.255.255 <PC の IP アドレス>
```

これで、PC との通信ができるようになります。

Telnet または Web ブラウザのいずれかを使用して PC と本ユニットを接続し、IP アドレスを変更してください。

なお、出荷時のアカウントは次のとおりです。

ユーザ名： MtAdmin (大文字小文字を区別しません)

パスワード： MtAdmin (大文字小文字を区別します)

(B) シリアルポートを介して行う場合

本ユニット正面の設定用コネクタと設定用 PC を添付のケーブルで接続します。

設定用 PC でハイパーターミナルを起動します。

通信ポートは以下のように設定してください。

・ 伝送速度： 9600bps

・ データビット長： 8 ビット

・ パリティ： なし

・ ストップビット： 1 ビット

・ フロー制御： なし

リターンキー押下でメニューが表示され IP アドレスを変更することができます。

(3) 動作確認テスト

(A) 本ユニットをネットワークに接続した後、Internet Explorer、Netscape Navigator などの Web ブラウザを起動して本ユニットに接続します。出荷時のアカウントは次のとおりです。

ユーザ名： MtAdmin (大文字小文字を区別しません)

パスワード： MtAdmin (大文字小文字を区別します)

操作方法については、別冊の「ユーザガイド」を参照して下さい。

(B) 各チャンネルを制御して、出力がオンまたはオフするか確認して下さい。

## 5.3 設定

出力コンセントに接続する装置により、別冊の「ユーザガイド」に従って設定して下さい。

## 5.4 接続装置の接続

### (1) Web-tap

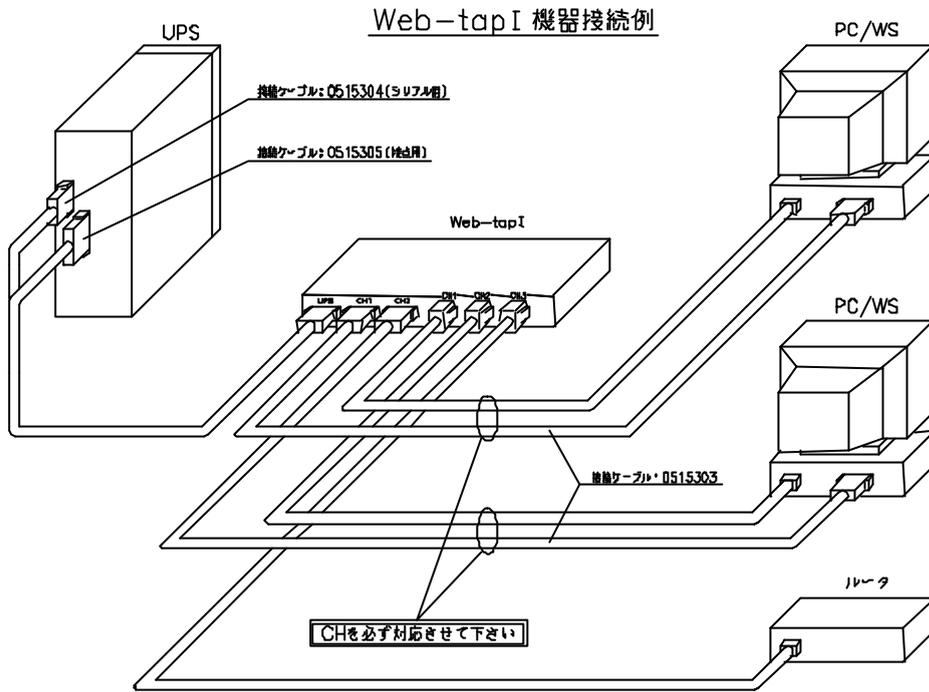


図 6 Web-tap 接続例

### (2) Web-tap

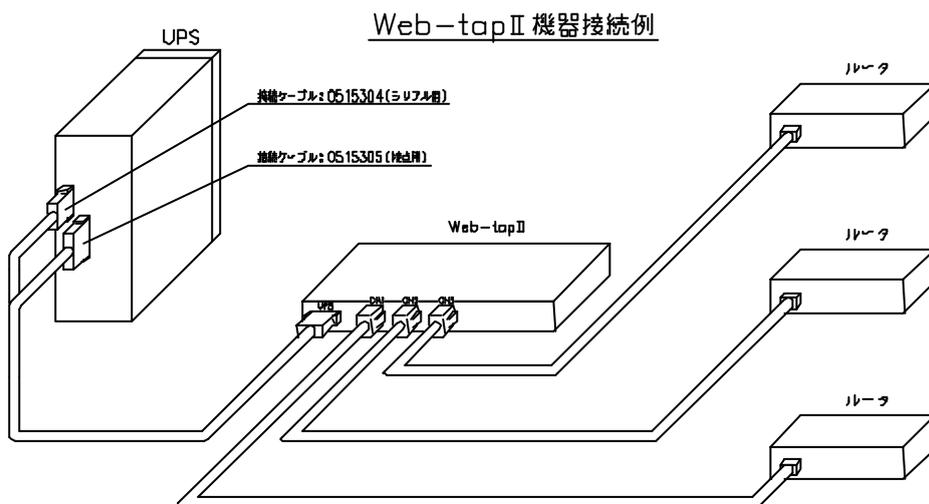


図 7 Web-tap 接続例

## 5.5 Web ブラウザからの操作

別冊の「ユーザガイド」を参照してください。

## 5.6 手元での操作（Web-tap のみ）

ユニット正面の各チャンネルに対応した押しボタンスイッチを約5秒間押しつづけると、出力コンセントの制御が行えます。電源が、「入」の状態ですwitchを押すと「切」の操作を、「切」の状態ですwitchを押すと「入」の操作となります。

## 5.7 OUTPUT MONITOR 用 LED の表示

### (1) Web-tap

出力コンセントがオンしている時： 緑の点灯  
出力コンセントがオフしている時： 消灯  
オフ遅延およびオン遅延時間中： 赤の点滅

### (2) Web-tap

出力コンセントがオンしている時： 緑の点灯  
出力コンセントがオフしている時： 消灯

## 6 保守・点検

本ユニットは、表示灯の点灯状況に異常がないことを確認していただくだけで、特に点検、手入れの必要はありません。

また、定期交換部品もありません。

## 7 特殊機能

本ユニットを複数使用してカスケード接続することにより、1台のUPSの出力に多数のPC/WSを接続することができます。概念図を図8に示します。

1台目のユニットは、UPSからシリアル信号または接点信号で受信した、「停電」および「バッテリー電圧低下」信号を、2台目のユニットに接点信号の形で転送します。2台目のユニットは「停電」および「バッテリー電圧低下」信号を、3台目のユニットに接点信号の形で転送するというように、次々に信号の転送を行えます。これにより、停電が発生した場合などに、PC/WSを安全にシャットダウンしてUPSを停止することができます。

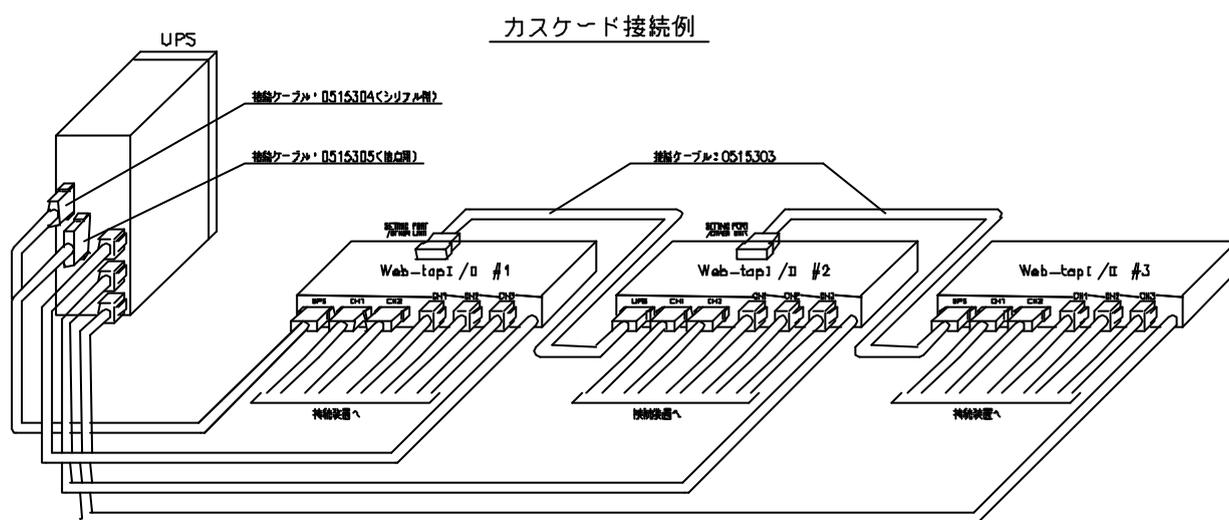


図8 カスケード接続例

ユニット間の接続は、下記のとおり行ってください。

UPSのシリアル通信用コネクタ、または、外部信号出力用コネクタと1台目のユニットのUPS接続用コネクタ（裏面）を接続する。

1台目のユニットの正面の設定用コネクタと2台目のユニットのUPS接続用コネクタ（裏面）を接続する。

以下同様に、3台目、4台目と接続する。

Webブラウザの基本設定画面内の「UPSとの連携」の項目は、以下の設定を行ってください。

- ・ 1台目のユニット：接続するUPSにより「接点接続」または「シリアル接続」のどちらかを選択する。
- ・ 2台目以降のユニット：「接点接続」を選択する。

「停電確認時間」および、各接続装置の「シャットダウン遅延時間」「オフ遅延時間」を設定する際は次のことを注意してください。

- ・ 「停電確認時間」はすべてのユニットで同一の値としてください。
- ・ 「シャットダウン遅延時間」+「オフ遅延時間」の合計は、1台目のユニットが一番長くなるようにしてください。2台目以降のユニットの方が長いとシャットダウンが終了しないうちにUPSが停止してしまうことがあります。

## 8 標準仕様

項目	Web-tap	Web-tap	備考
入力電圧	100V	100V	
許容入力電圧	85～115V	85～115V	
入力周波数	50/60Hz	50/60Hz	
過電流保護	リセット可能型ブレーカ(15A)	リセット可能型ブレーカ(15A)	
出力コンセント	ノンロック式コンセント × 4個	ノンロック式コンセント × 8個	
最大総電流容量	15A	15A	
寸法	43(高さ) × 430(幅) × 185(奥行き)	43(高さ) × 430(幅) × 185(奥行き)	
19インチラック搭載	可	可	
PC/WS 接続用汎用ポート	4ポート	なし	
シャットダウン対応OS	WindowsNT, Windows95/98, NetWare, UNIX	-	注1
遠隔からの出力制御	あり	あり	
スケジュール運転	あり	あり	
UPS とのインタフェース	あり	あり	
UPS 交流入力異常時の出力オフ制御	あり	あり	
出力オフ時のシャットダウン制御	あり	なし	
停電信号/バッテリー電圧低下信号の送出	あり	あり	
手元スイッチによる出力制御	あり	なし	
DHCP 対応	あり	あり	
リング信号送出	あり	なし	注2
遠隔プログラム更新	あり	あり	
「SAN GUARD」による一括管理	可	可	

(注1) Windows NT/2000、NetWareおよびUNIXについては、PC/WSにインストールするソフトは不要です。

Windows95/98の場合は、PCに山洋電気㈱「SAN GUARD A」をインストールする必要があります。

(注2) リング信号とは電源を投入しただけでは立上らないパソコンを起動するために送出する信号です。

## 9 オプション品

本ユニットをUPSと接続する場合、PC/WSと2台以上接続する場合、およびカスケード接続する場合、下記の専用ケーブルが別途必要になります。

UPSを接続する場合(シリアル信号) : 0515304 (長さ: 3m)

UPSを接続する場合(接点信号) : 0515305 (長さ: 3m)

PCまたはWSを接続する場合 : 0515303 (長さ: 3m)

カスケード接続する場合 : 0515303 (長さ: 3m)

注1) とのケーブルは同時に接続することはできません。どちらか一方を選択してください。

2) のケーブルは、標準で1本添付されています。PC/WSを2台以上接続する場合に必要となります。

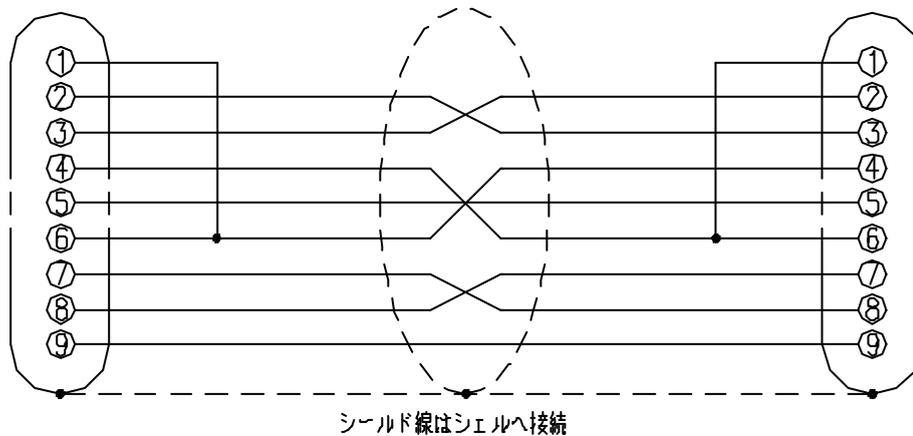
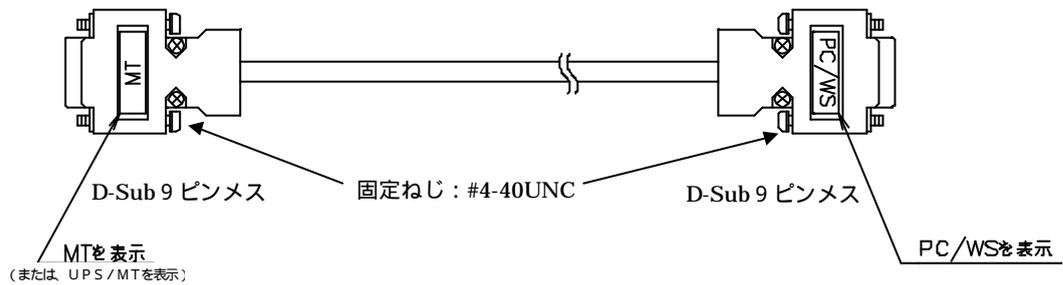
以下に、各ケーブルの仕様を示します。

0 5 1 5 3 0 3

接続方法は、下表のとおりです。

使用方法	コネクタの表示	接 続 先	
		接続ユニット	接続箇所
PC/WS のシャットダウン制御を行う場合	MT または UPS / MT	Web-tap	裏面の D-Sub 9 ピンコネクタ ( SERIAL PORT(PC/WS)の CH1 ~ CH4 のいずれか )
	PC / WS	パソコン、または、 ワークステーション	COM1、または、COM2 のどちらかのポート
カスケード接続を行う場合	MT または UPS / MT	Web-tap	正面の D-Sub 9 ピンコネクタ ( SETTING PORT/OTHER UNIT )
	PC / WS	Web-tap	裏面の D-Sub 9 ピンコネクタ ( UPS )

ケーブルの外形および接続は、下図に示すとおりです。

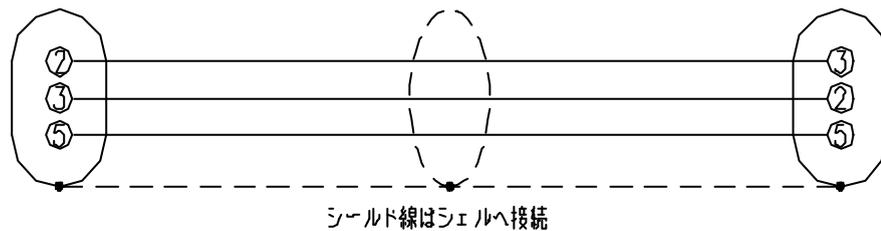


0 5 1 5 3 0 4

接続方法は、下表のとおりです。

コネクタの表示	接 続 先	
	接続ユニット	接続箇所
UPS	山洋電気株製UPS	裏面の D-Sub 9 ピンコネクタ (W/S 用転送信号) RS232C インターカードまたは SNMP カード を 使用する場合は、カードの D-Sub 9 ピンコネ クタ
MT	Web-tap	裏面の D-Sub 9 ピンコネクタ(UPS)

ケーブルの外形および接続は、下図に示すとおりです。

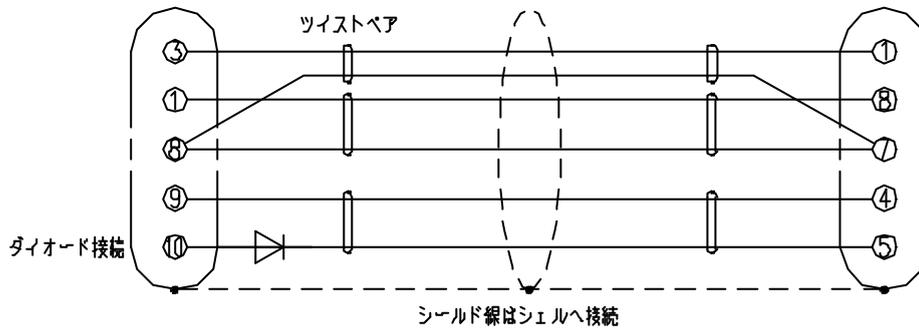
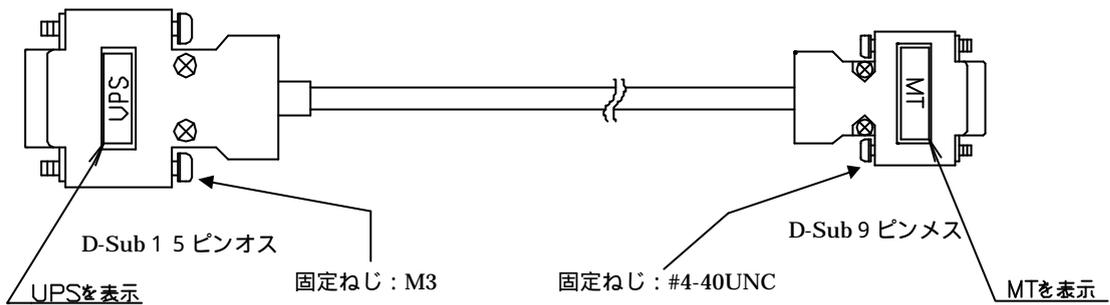


0 5 1 5 3 0 5

接続方法は、下表のとおりです。

コネクタの表示	接 続 先	
	接続ユニット	接続箇所
UPS	山洋電気㈱製UPS	裏面の D-Sub 15 ピンコネクタ (外部転送信号)
MT	Web-tap	裏面の D-Sub 9 ピンコネクタ(UPS)

ケーブルの外形および接続は、下図に示すとおりです。



## 富士通コワーコ株式会社支店・営業部一覧

営業部・支店	郵便番号	住 所	電話番号
東京営業本部	160-0023	東京都新宿区西新宿6-24-1(西新宿三井ビルディング)	
		プロジェクト営業部	03-3342-5391
		公共営業部	03-3342-5394
		金融営業部	03-3342-5395
		産業営業部	03-3342-5399
		流通営業部	03-3342-6310
		富士通グループ営業部	03-3342-5403
北海道支店	060-0001	札幌市中央区北一条西2-1(札幌栄台ビル)	011-221-3966
盛岡支店	020-0033	盛岡市盛岡駅前北通り1-10(東京生命盛岡ビル)	019-626-4773
東北支店	980-0811	仙台市青葉区一番町2-3-22(仙台ビル)	022-267-6871
福島支店	963-8001	郡山市大町1-14-1(協栄生命郡山ビル)	0249-21-1819
山形出張所	990-0043	山形市本町1-4-21(荘銀山形ビル)	023-641-9766
宇都宮支店	321-0953	宇都宮市東宿郷4-2-24(センターズビル)	028-638-8701
北関東支店	331-0851	大宮市錦町682-2(大宮情報文化センター)	048-643-4080
群馬支店	370-0841	高崎市栄町14-5(内堀ビル)	027-328-1621
千葉支店	260-0025	千葉市中央区問屋町1-35(千葉ポートサイドタワービル)	043-245-0088
横浜支店	220-0005	横浜市西区南幸2-20-5(東伸24ビル)	045-314-9581
川崎支店	210-0005	川崎市川崎区東田町8(パレール三井ビルディング)	044-244-4450
新潟支店	951-8055	新潟市礎町通二の町2077番地(朝日生命新潟万代橋ビル)	025-225-7730
長野支店	380-0936	長野市岡田町215-1(日本生命長野ビル)	026-224-1380
静岡支店	422-8067	静岡市南町18-1(サウススポット静岡)	054-203-0040
浜松出張所	430-0927	浜松市旭町11-1(プレスタワービル)	053-458-5124
名古屋支店	460-0008	名古屋市中区栄2-4-18(岡谷ビル)	052-204-1245
三河支店	448-0027	刈谷市相生町1-31(第5セントラルビル2階)	0566-27-1191
富山支店	930-0005	富山市新松町2-21(富士通ビル)	0764-33-2527
北陸支店	920-0918	金沢市尾山町1-8(朝日生命金沢ビル)	076-232-2471
京都支店	604-8171	京都市中京区烏丸通御池下ル虎屋町566-1(井門明治生命ビル)	075-222-1184
大阪支店	530-6007	大阪市北区天満1-8-30(OAPタワー)	06-6881-6800
神戸支店	650-0033	神戸市中央区江戸町95(リクルート神戸ビル)	078-392-2561
岡山支店	700-0826	岡山市磨屋町10-12(交通オアシスビル)	086-233-7441
広島支店	732-0814	広島市南区段原南1-3-53(広島イーストビル)	082-567-6790
松江出張所	690-0826	松江市学園南2-10-14	0852-25-0313
四国支店	760-0023	高松市寿町2-1-1(高松第一生命ビルディング新館)	087-851-1822
松山出張所	790-0003	松山市三番町4-8-5(第7越智ビル)	089-946-4033
九州支店	812-0011	福岡市博多区博多駅前2-20-1(大博多ビル)	092-451-2433
南九州支店	892-0844	鹿児島市山之口町2-30(鹿児島第一・海上ビル)	099-225-6290